

Design Guide

# デザインガイド編

マスターデザイン



Master Design

# ゾーニング・将来イメージ

## 「スポーツ施設の再配置等」によるオープンスペースの確保と交流の場の創出

- スポーツの機能を維持しながら、河川敷運動場を活用し、スポーツ施設を再配置
- センターに生み出されたオープンスペースでは、自由度の高い取組の展開と GunMaaSのモビリティハブ等の公共交通結節点として活用

## 回遊動線確保による「エリアの一体性強化」

- 公園中央から南側にかけて人が往来できる園路等を設け、河川敷と公園を一体化し回遊動線を確保

## 敷島固有の「環境の継承」と「シンボルの魅力向上」

- 敷島の風致である「スポーツの聖地、松林、文化財、上毛三山や利根川の眺望等」を保全と継承

	ゾーン	概要
多目的緑地	グリーンリビング	松林や水辺等、子どもから大人までゆっくり過ごせるエリア
	センター	多様な人々が自由な活動や交流を深める出会いの場としてのオープンスペースや公共交通の結節点【GunMaaSのモビリティハブ】として、公園の核を担うエリア
	チャレンジ	市民や地元企業が中心となって新しいチャレンジができるエリア
	フィールドプレイ	キャンプをはじめとするアウトドア等、誰もが屋外でのびのびとアクティブな遊びができるエリア
競技施設	スポーツコア	スポーツの機能を維持しながら、スポーツ施設の再配置等を行う、スポーツの機能（聖地）を継承するエリア
	スポーツグラウンド	河川敷を有効活用し、スポーツ機能を配置すると共に、市民が気軽にスポーツを楽しめるエリア
浄水場	カルチャー	国指定登録有形文化財の旧配水塔の魅力を発信するなど、歴史・文化遺産を保全・継承、体感できるエリア
水産試験場	ネイチャー	群馬県の水産（主に川魚）に加え、生態系、生物多様性及び環境問題等を研究・発信するエリア

## ゾーニング図 (将来イメージ)

### フィールドプレイ

#### 利用イメージ

市民の日常スポーツ（ヨガ、ニュースポーツなど）、キャンプやバーベキュー、子どもたちの遊び場、ドックラン、食や音楽などの交流イベント等

### センター

#### 利用イメージ

交流センターでの市民活動、市民主体の交流イベント、気軽に集まれる場所、モビリティハブ

### スポーツコア

#### 利用イメージ

スポーツ観戦、競技スポーツ大会、映画鑑賞や音楽フェス等の交流イベント等

### スポーツグラウンド

#### 利用イメージ

補助陸上競技場（国体等の大会時）、市民の競技スポーツ（野球・ラグビー・テニスなど申込型）、食や音楽フェスなどの交流イベント等

### グリーンリビング

#### 利用イメージ

自然環境をいかしたカフェやレストラン、親水施設、四季の花々、ハンモックなどの休憩スポット、青空図書館、古本市、森の中のアート展示や演奏、ストリートピアノ、森林サウナなど松林や池をいかしたアクティビティ等

### ネイチャー

#### 利用イメージ

魚などの生き物のふれあい、群馬の自然を学べるプログラム、環境問題に関する研究、イノベーションセンター等

### カルチャー

#### 利用イメージ

旧配水塔や水道資料館をいかしたホテル、ミュージアム、ショップ等



**凡例**

- エントランス
- エリア内動線
- 保全緑地
- 緑地
- 公園と河川敷の一体化
- 既存池
- 交流センター



# ゾーニング・現況と将来イメージの比較

## 現況

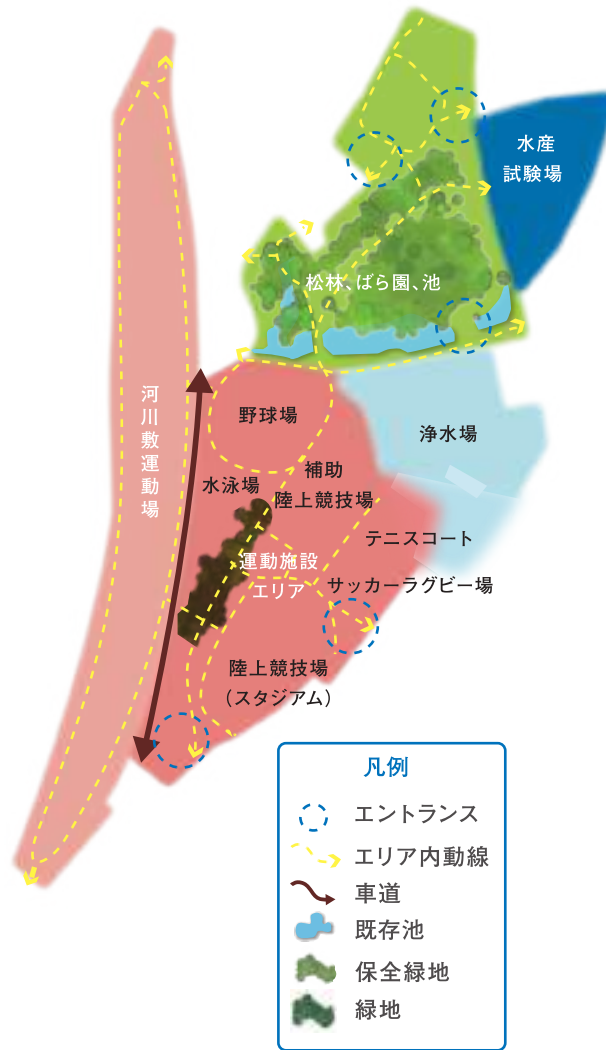
- ①市民が多様に利用できる空間の創出
  - ・市民が多様に利用できる空間なし
- ②市民が主体的に利用できるオープンスペースの確保
  - ・公園内のオープンスペースは限定的
  - ※オープンスペース率: 約30%
- ③公園と河川敷の分断の解消
  - ・公園と河川敷が道路(国道)により分断



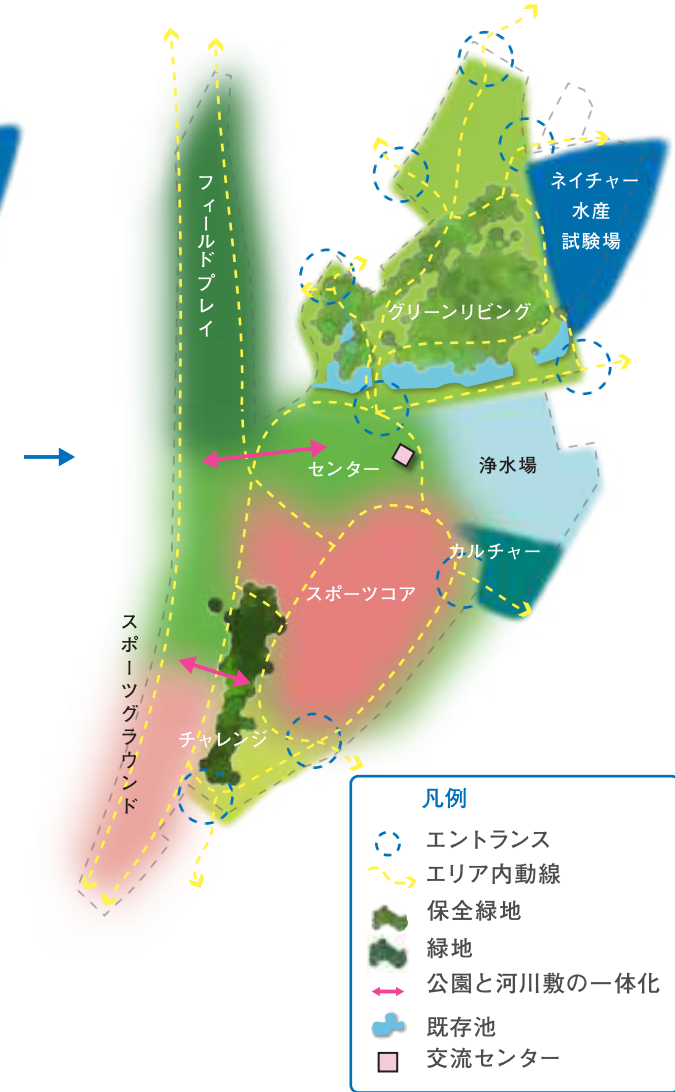
## 将来イメージ

- ①市民が多様に利用できる空間の創出
  - ・スポーツ施設の移設と複合化により、多様な利用空間とオープンスペースを確保
  - ・野球場とスタジアムを緑地に覆われた半地下施設に新設・改築
  - ・各施設内に多様な利用空間を創出
- ②市民が主体的に利用できるオープンスペースの確保
  - ・公園内にオープンスペースを拡大
  - ※オープンスペース率: 約75%
- ③公園と河川敷の分断の解消
  - ・公園南側と中央部分の公園と河川敷を繋ぐ動線を確保

## 現況



## 将来イメージ



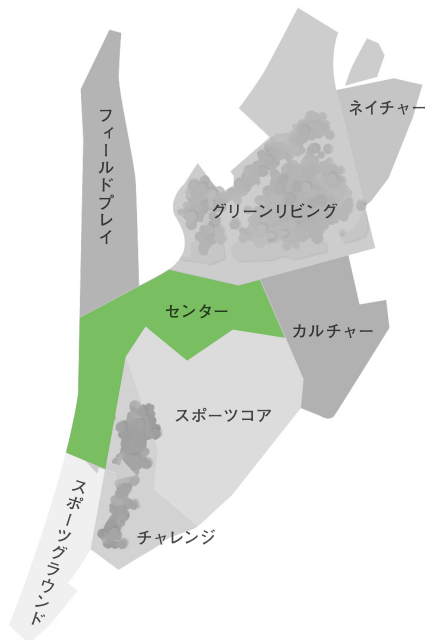
※オープンスペース率=(多目的緑地の面積)/((多目的緑地の面積)+(競技施設の面積))



公園と河川敷を広場でつなぎ、  
利根川との一体感を高めながら、  
山の眺望も楽しめる気持ちの  
いい空間を生み出します。

活動イメージ

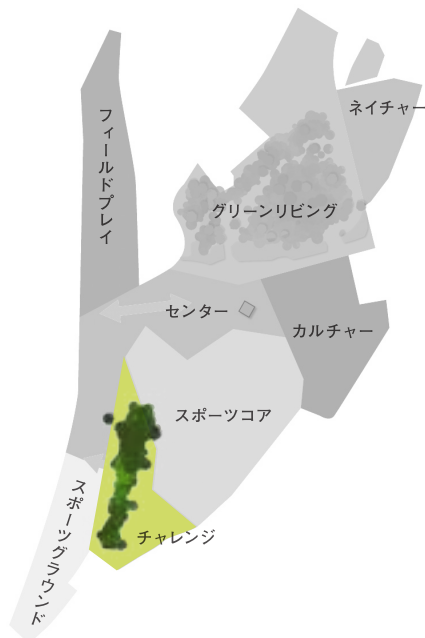
- 公園と川をつなぐ広場で交流
- 榛名山と利根川の眺め
- サイクリング・ジョギング
- ピクニック など



緑あふれる公園の  
メインストリートを形成し、  
行きたくなる、  
居たくなる賑わいにあふれた  
歩行空間を創出します。

活動イメージ

- ・ ワークショップの実施
- ・ 市民の主体的な活動空間
- ・ 人が集う憩いの空間
- ・ カフェスタンド など



県民の大切な場所である  
松林を保全しながら、  
誰もがリビングのように  
くつろげる空間として  
活用を進めていきます。

活動イメージ

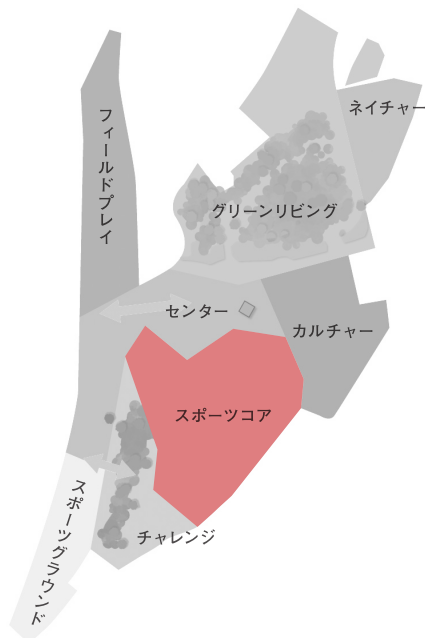
- ・ 散策
- ・ 森の図書館
- ・ ハンモックやチェアリングで昼寝
- ・ 映画鑑賞 など



競技場の周囲を  
緑の丘とするなど、  
より身近に賑わいを感じられる  
公園利用者にかかれた  
スポーツ施設を目指します。

活動イメージ

- ・ 緑地に覆われているスタジアム
- ・ 緑地の上からスポーツ大会を見下ろして観戦
- ・ 赤城山、榛名山の眺望 など



ばら園の雰囲気を活かした  
滞留空間を創出し、  
県を代表する花の名所として  
さらなる魅力の向上を図ります。

活動イメージ

- 日影の休憩スペース
- 花を楽しみながら食事 など

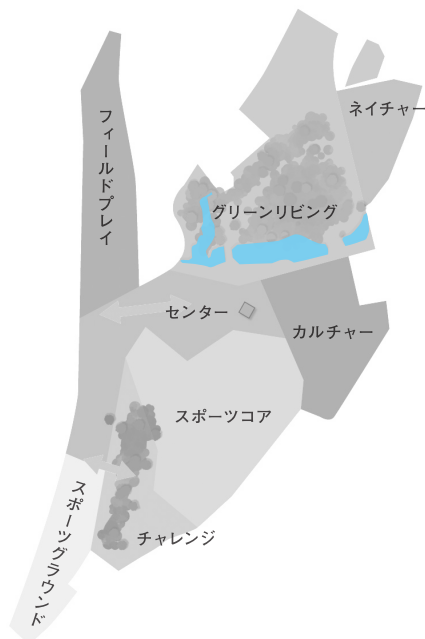




池を活かした水辺の  
アクティビティを展開することで、  
松林や水辺、赤城山の眺望  
という敷島の風致を  
体感できる空間を創出します。

活動イメージ

- 水辺の休憩スペース
- 森林サウナ
- SUP など



市民活動の中心となる  
交流センターを整備することで、  
世代を超えた交流を  
生み出していきます。

活動イメージ

- 交流センターでの市民活動
- 市民が主体のイベント
- ふらっと訪れる など



気軽なスポーツや  
アウトドアアクティビティが  
できる空間を河川敷に設け、  
利根川を身近に感じ、誰もが  
自由に遊べる場を創出します。

活動イメージ

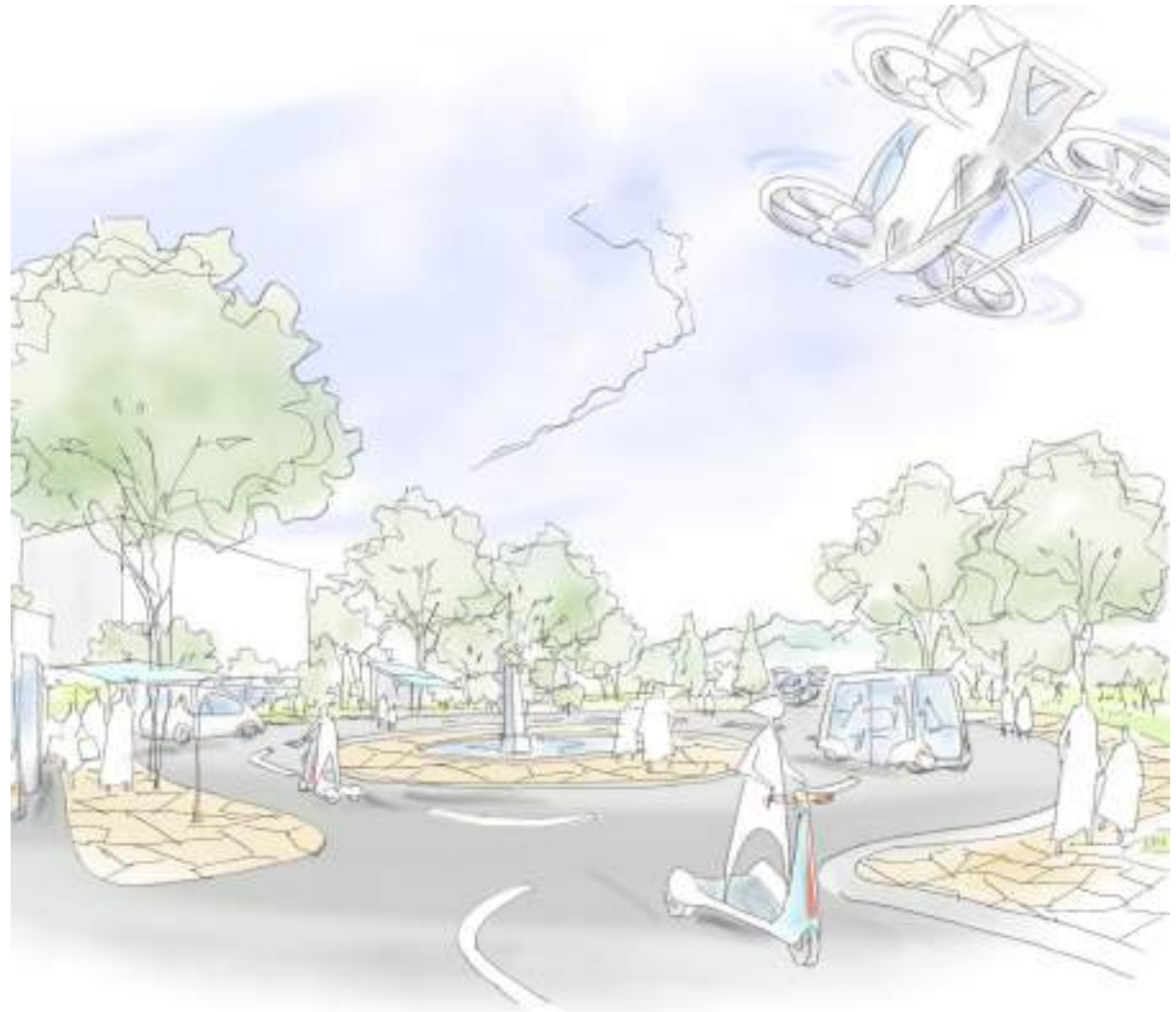
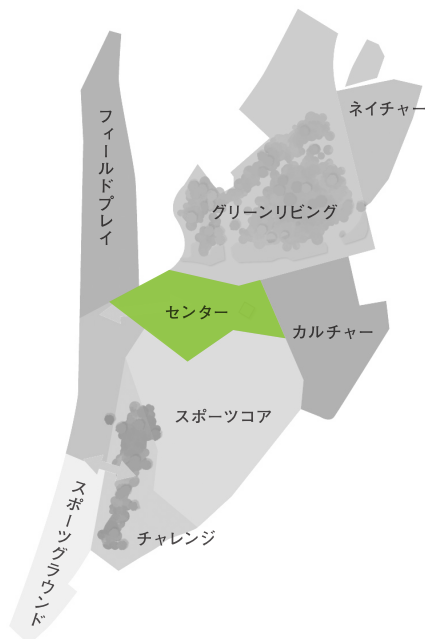
- キャンプ、BBQ
- ドッグラン
- 手作りBMX
- 草野球 など



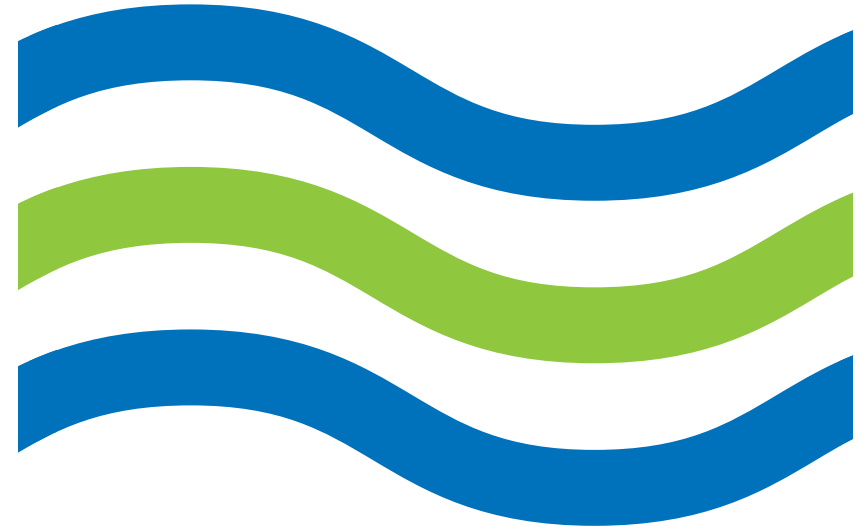
シェアリング型の移動サービスや、  
多様なモビリティでアクセス  
可能な拠点を形成し、  
エリア一帯の交通利便性の  
向上を目指します。

活動イメージ

- GunMaaSのモビリティハブ
- 多様なモビリティの導入 など



Design Guide



# デザインガイド編

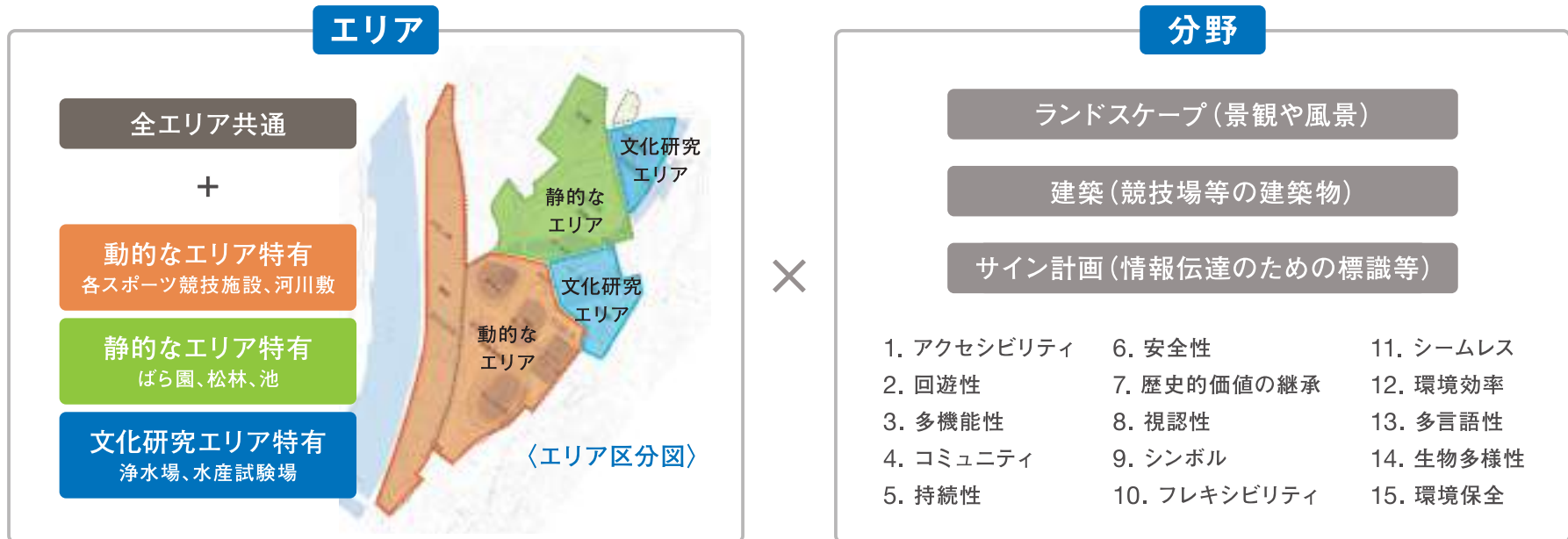
デザインコード

Design Code

# デザインコードの構成

デザインコード	訪れる人が利用・活動したくなる機能を重視した他に類を見ない敷島独自の「不変の方針」としてデザインコードを規定	人を中心とし「アクセシビリティ」「回遊性」「多機能性」「コミュニティ」等の観点を重視
デザインルール	不変の方針であるデザインコードに基づき、社会情勢等の変化に適応して変更可能なものとしてデザインルールを規定	

デザインコードは、  
以下の3つのエリアと3つの分野で分類



## エリア・分野別のデザインコード

全 エ リ ア 共 通	【ランドスケープ】デザインコード	<p>多様な人々が利用しやすいものとし、周辺からの円滑なアクセスを確保する。 全ての施設を防災面、防犯面で安心安全に使用できるようにする。 地域特有の植物や動物が息できる環境を作る。 環境に配慮した持続可能な仕組みを構築する。 上毛三山、利根川、文化財など敷島エリアならではの景観を楽しめる視点を設ける。</p>	<p>【アクセシビリティ】 【安全性】 【生物多様性】 【持続性】 【景観性】</p>
	【建築】デザインコード	<p>多様な人々が利用できるようにする。 防災面、防犯面で安心安全に使用できるようにする。 環境に配慮し、エネルギー効率の優れたものにする。</p>	<p>【アクセシビリティ】 【安全性】 【環境効率】</p>
	【サイン計画】デザインコード	<p>多様な人々が理解でき、多様な利用者を尊重したサインにする。 サインは景観に配慮しながら明確で視認しやすい位置に配置する。 デジタル技術を活用し、より便利で直感的なサインシステムを構築する。 ビジュアルアイデンティティである「敷島デザイン」に基づき、 一貫性のあるデザインコントロールをする。 外国人利用者にも配慮した多言語対応のサインにする。</p>	<p>【アクセシビリティ】 【視認性】 【視認性】 【視認性】 【多言語性】</p>
動 的 エ リ ア 特 有	【ランドスケープ】デザインコード	<p>公園内のにぎわいや多様な活動の様子を観て楽しみながら散歩できる遊歩道にする。 多様な人々が多様なスポーツを楽しめる環境にする。 スポーツトレンドや地域ニーズに合わせた利用形態に対応できるものにする。 公園全体の美観を保つために、緑地を適切に保全・配置する。</p>	<p>【回遊性】 【多機能性】 【フレキシビリティ】 【景観性】</p>
	【建築】デザインコード	<p>建物内部の利用目的が変わっても対応できるようにする。 屋内外のつながりを確保し、訪れる人々にとって開かれた施設にする。 多様な人々が立ち寄り、集うことのできる居場所にする。 ニーズの変化等に柔軟に適應しながらスポーツの聖地としての歴史や文脈を継承する。 敷島エリアの景観的、建築的文脈を継承し、地域独自の世界に誇れるデザインにする。</p>	<p>【フレキシビリティ】 【シームレス】 【コミュニティ】 【歴史的価値の継承】 【シンボル】</p>
特 有 静 的 エ リ ア	【ランドスケープ】デザインコード	<p>自然環境を楽しみながら散歩できる遊歩道にする。 松林や池の環境資源を保全し、森林の美観と生態系を維持する。</p>	<p>【回遊性】 【環境保全】</p>
	【建築】デザインコード	<p>環境に配慮した持続可能なものにする。</p>	<p>【持続性】</p>
エ リ ア 特 有 文 化 研 究	【ランドスケープ】デザインコード	<p>文化財の本質的な価値を継承するランドスケープデザインにする。</p>	<p>【歴史的価値の継承】</p>
	【建築】デザインコード	<p>文化財を保全しながら魅力を発信するための活用を推進する。 文化財の景観に調和したものにする。</p>	<p>【歴史的価値の継承】 【景観性】</p>



## 【ランドスケープ】デザインコード

### アクセシビリティ

多様な人々が利用しやすいものとし、周辺からの円滑なアクセスを確保する。

### 安全性

全ての施設を防災面、防犯面で安心安全に使用できるようにする。

### 生物多様性

地域特有の植物や動物が生息できる環境を作る。

### 持続性

環境に配慮した持続可能な仕組みを構築する。

### 景観性

上毛三山、利根川、文化財など敷島エリアならではの景観を楽しめる視点を設ける。

## デザインルール

- ・ユニバーサルデザインに基づき、多様な人々が利用しやすいものとする。
- ・エントランスは安易に集約せず様々な箇所に設ける。
- ・周辺からの円滑なアクセスを可能とするエントランスの配置とする。
- ・オープンな公園空間とするため、安全上や管理上やむを得ない場合を除き、周縁部にはフェンス等を設置しないものとする。
- ・駐車場は主要な園路や視点場等から見えない場所に設ける。

- ・自然環境を活かし、雨水貯留・浸透機能を向上させる。
- ・オープンスペースは地震・火災時の避難場所として利用可能なものとする。
- ・河川氾濫による浸水を想定し、避難動線を確保する。
- ・見通しや歩きやすさを考慮した園路とする。
- ・園路の照明は周辺環境に配慮し、適切な間隔で配置する。

- ・園内と周辺地域の生態系の繋がりを確保する。
- ・地域特有の動植物を保全する。
- ・地域の生態系に配慮し、植栽は在来種とする。
- ・緑地は地域特有の生物が生育できる環境とする。

- ・再生可能エネルギーを活用する。
- ・省エネルギー、省資源に配慮し、エネルギーの効率化を図る。
- ・緑と水循環(地下水の涵養や蒸散)により、ヒートアイランド現象を緩和する。
- ・コンポストなど公園内の有機資源を積極的に活用する。
- ・エリア内に存する施設等は有効利用する。
- ・資材は地域資源を可能な限り活用する。

- ・上毛三山、利根川の眺望を楽しめる滞留空間や園路等を設ける。
- ・公園内から旧配水塔が見えるように滞留空間や園路等を設ける。
- ・旧配水塔の眺めを阻害しないように施設、植栽等を配置する。





### 【建築】デザインコード

#### アクセシビリティ

多様な人々が利用できるようにする。

#### 安全性

防災面、防犯面で安心安全に使用できるようにする。

#### 環境効率

環境に配慮し、エネルギー効率の優れたものにする。

### デザインルール

- ユニバーサルデザインに基づき、多様な人々が利用しやすいものとする。
- 施設の正面入口は園路から容易にアクセス可能な位置とする。

- 電源確保(自家発電、太陽光、蓄電池など)・食料備蓄など災害時の備えを行う。
- 耐震性能を満たす施設を設置し、災害時(洪水時は除く)は避難所として利用可能なものとする。
- 災害時の飲料水について、備蓄分を超えると想定される場合は、浄水場と連携を図る。
- 利用者の動線から見通しが確保された施設構造とする。
- 防犯性能に優れた施設設計を行う。

- 資材は地域資源を可能な限り活用する。
- 自然エネルギーの利活用が可能な施設とする。
- 雨水を有効に活用する。
- 整備時点で求められる最先端の省エネルギー性能を備える。
- 半屋外空間を設け、エネルギー効率に配慮する。



## 【サイン計画】デザインコード

### アクセシビリティ

多様な人々が理解でき、多様な利用者を尊重したサインにする。

### 視認性

サインは景観に配慮しながら明確で視認しやすい位置に配置する。

デジタル技術を活用し、より便利で直感的なサインシステムを構築する。

ビジュアルアイデンティティである「敷島デザイン」に基づき、一貫性のあるデザインコントロールをする。

### 多言語性

外国人利用者にも配慮した多言語対応のサインにする。

## デザインルール

- ユニバーサルデザインに基づき、多様な人々が利用しやすいものとする。
- 多様な人々に認知されるピクトグラムとする。
- 多様な人々の移動や活動を阻害しないデザインや配置とする。

- 上毛三山、利根川、文化財などの景観を阻害しない配置とする。
- 景観に配慮しながら視認性の高い位置に配置する。
- 多様な人々が視認できるよう明確に表記する。

- デジタル技術を活用し、敷島エリアの各種情報を発信する。
- 情報システムを構築する場合は、市民のコミュニケーションツールとしても使えるものとする。
- 紙媒体やWEB媒体のマップ情報、カーナビゲーション等、多様な情報ツールとの連携を図る。

- 各施設において「敷島デザイン」で規定されたキーカラーやタイポグラフィ、アイコン等を活用する。

- 日本語と英語の2言語併記を基本とし、必要に応じてその他の言語の併記も検討する。



## 動的なエリア特有 (敷島公園県管理区域+敷島緑地)

### 【ランドスケープ】デザインコード

#### 回遊性

公園内のにぎわいや多様な活動の様子を観て楽しみながら散策できる遊歩道にする。

#### 多機能性

多様な人々が多様なスポーツを楽しめる環境にする。

#### フレキシビリティ

スポーツトレンドや地域ニーズに合わせて利用形態に対応できるものにする。

#### 景観性

公園全体の美観を保つために、緑地を適切に保全・配置する。

### デザインルール

- ・ 歩行、自転車、園内モビリティ等の安全で快適な動線を公園全域でつなぎ、回遊性を高める。
- ・ 園内ネットワークと地域ネットワークを一体的に形成する。
- ・ 公園と河川敷をつなぎ安全で快適な歩行、自転車、園内モビリティ等の動線を設ける。
- ・ 公園と浄水場の文化財をつなぎ歩行、自転車、園内モビリティ等の動線を設ける。
- ・ 園路沿いに滞留空間やパブリックアートなどを設け、歩きたくなる歩行空間とする。
- ・ 園路から見える地上部の設備機器等は最小化・分節化を図り、見える位置に設ける場合は、風景として周辺に溶け込ませる工夫をする。
- ・ ストリートファニチャーは周辺環境に配慮したデザインとする。

- ・ スポーツのトレンドや地域のニーズに合わせた多様な機能を確保する。
- ・ スポーツをしない人も、スポーツをしている人を観ながら楽しめる場とする。
- ・ 子どもの遊び場は、子どもの創造力の発達や、心と体の成長につながるものとする。
- ・ 多世代が日常的に体を動かして楽しめる空間や設備を設ける。
- ・ オープンスペースは、多様な人々からの占有利用等のニーズに対応するため、多目的に利用できるものとする。
- ・ オープンスペースは、交流拠点施設と連携しやすい位置に配置する。
- ・ 働く・学ぶ・ボランティア活動・立ち寄りなどの用途で利用できる空間を設ける。
- ・ 自然・芸術・食など敷島エリアならではの体験ができる空間を設ける。

- ・ オープンスペースは、地域のニーズに合わせて柔軟に利用できるものとする。
- ・ 河川敷のスポーツグラウンドは運動競技に応じて柔軟に対応できるものとする。

- ・ 季節を感じさせる樹種や草本種を活用する。
- ・ 既存の植栽を活かし、緑陰空間を創出する。



## 動的なエリア特有 (敷島公園県管理区域+敷島緑地)

### 【建築】デザインコード

#### フレキシビリティ

利用目的の変化に対応できるものとする。

#### シームレス

屋内外のつながりを確保し、訪れる人々にとって開かれた施設にする。

#### コミュニティ

多様な人々が立ち寄り、集うことのできる居場所にする。

#### 歴史的価値

ニーズの変化等に柔軟に適応しながらスポーツの聖地としての歴史や文脈を継承する。

#### シンボル

敷島エリアの景観的、建築的文脈を継承し、地域独自の世界に誇れるデザインにする。

### デザインルール

- スポーツ施設の多目的化を図る。
- 働く、学ぶ、集う、くつろぐための場など、誰もが多目的に利用できる活動空間を分散配置する。
- 柔軟に設備更新が可能なものとする。

- ベンチのある軒下空間、カフェやコワーキングスペースなど、歩行者が立ち寄る場所を建物の内外に設ける。
- 建物際に半屋外空間を設け、歩行者にとって快適な領域を整備する。
- 訪れる人々が施設内での活動状況が見られるようにする。
- 運動施設を含め、各施設は地上レベルは視覚的な見通しを確保し、公園利用者に常時開放できることを原則とする。
- 建物周辺の地上部の設備機器等は最小化・分節化を図り、見える位置に設ける場合は、風景として周辺に溶け込ませる工夫をする。

- 市民に開かれた公園の中核となる施設を設置する。
- 市民が集う公園自治のコアとなるスペースを設ける。
- 小規模な喫茶・飲食スペースを設ける場合は、誰もが集えるようにし、エリア内に分散配置する。
- 小規模な屋内スポーツ空間を設ける場合は、誰もが参加可能なものとする。

- 現在のスポーツ機能を継承する。
- 既存建築の有効活用により記憶を継承する。

- 代表的景観を望める視点場を設ける。
- 視点場には建物の外から歩行者が自由にアクセスできるようにする。
- デザインは優れたデザイン案を広く募集するため、公募による設計競技方式等の手法により選定する。



### 静的なエリア特有 (敷島公園市管理区域)

#### 【ランドスケープ】デザインコード

##### 回遊性

自然環境を楽しみながら散策できる遊歩道にする。

##### 環境保全

松林、池、ばら園の自然環境を保全し、森林の美観と生態系を維持する。

#### 【建築】デザインコード

##### 持続性

環境に配慮した持続可能なものにする。

#### デザインルール

- 歩行、自転車、園内モビリティ等の安全で快適な動線をエリア全域でつなぎ、回遊性を高める。
- 園内ネットワークと地域ネットワークを一体的に形成する。
- 園路沿いに滞留空間やパブリックアートなどを設け、歩きたくなる歩行空間とする。
- ストリートファニチャーは周辺環境に配慮したデザインとする。

- 長年市民に親しまれてきた憩いの空間である松林やばら園を保全する。
- 季節を感じさせる樹種や草本種を活用する。
- 緑や水辺で癒されながら静かにくつろぐことができる居心地の良い滞留空間を設ける。
- 長年市民に親しまれてきた憩いの空間として池を保全する。
- 水に近づくことやふれることができる親水機能を維持するとともに活用する。
- 池と松林、赤城山が一体的に見通せる視点場を継承する。
- 静かな周辺環境に調和した子どもの遊び場を継承する。

#### デザインルール

- 松林内に建築物を設ける場合は、環境や景観を損なわない、規模、デザインとする。
- ばら園内に建築物を設ける場合は、環境や景観を損なわない、規模、デザインとする。
- 四阿など水辺で時間を過ごす場所を設ける。



### 文化研究エリア特有(浄水場+水産試験場)

#### 【ランドスケープ】デザインコード

##### 歴史的価値

文化財の価値を継承する。

#### デザインルール

- 文化財の景観を生かした滞留空間を設ける。
- ストリートファニチャーは文化財の歴史的・文化的な価値に配慮したデザインにする。

#### 【建築】デザインコード

##### 歴史的価値

文化財を保全しながら魅力を発信する。

#### デザインルール

- 文化財を保全するとともに、その歴史や価値を発信する空間を設ける。
- 文化財の本質的価値を損なう建築物は、可能な限り設置しない。

##### 景観性

文化財の景観に調和したものにする。

- 建築物は、文化財の歴史的な景観に配慮したデザインとする。



## ビジュアルアイデンティティ「敷島デザイン」について

---

すぐ隣を利根川が流れ、  
自然豊かな環境でありながら様々な  
スポーツの公式な大会にも対応できる充実した  
設備を有する敷島公園。

群馬県と前橋市を軸に公民の垣根を超えた、  
まったく新しいコミュニケーションの場として、  
ビジュアルアイデンティティを設定し、  
公園全体を通して共通性を保つため、  
ビジュアルアイデンティティから派生した  
デザインコードを展開します。

「並行するラインで構成されたロゴマーク」

ラインは利根川の流れや、風、空をイメージして  
おり抽象的に敷島の風景を表現しています。

「並行する2本のラインで構成されたロゴタイプ」



SHIKISHIMA  
WELL-PARK



## ビジュアルアイデンティティ「敷島デザイン」について

すぐ隣を利根川が流れ、  
自然豊かな環境でありながら様々な  
スポーツの公式な大会にも対応できる充実した  
設備を有する敷島公園。

群馬県と前橋市を軸に公民の垣根を超えた、  
まったく新しいコミュニケーションの場として、  
ビジュアルアイデンティティを設定し、  
公園全体を通して共通性を保つため、  
ビジュアルアイデンティティから派生した  
デザインコードを展開します。

ロゴ組み 1



ロゴ組み 4



ロゴ組み 2



ロゴ組み 3



※ロゴ組みのバリエーションは暫定です。使用用途に応じて詳細設定します。





## ビジュアルアイデンティティの展開①

### SPORTS PARK PICTOGRAM

群馬県 スポーツパークピクトグラム

公園内のインフォメーション並行する2本ラインでできたピクトグラムで表現し、公園全体の統一感をはかるだけでなく、言語のみに頼らない視覚的なコミュニケーションで、幅広い利用者に対応できます。



men



women



multipurpose



bicycle parking



cycling road



pedestrian road



track and field



baseball



soccer



rugby



tennis



basketball



Volleyball



swimming



water polo



bouldering



skateboarding



BMX

※ピクトグラムの種類、内容は暫定です。使用用途に応じて詳細検討します。



## ビジュアルアイデンティティの展開②

### WELLNESS PARK PICTOGRAM

前橋市 ウェルネスパークピクトグラム

公園内のインフォメーション並行する2本ラインでできたピクトグラムで表現し、公園全体の統一感をはかるだけでなく、言語のみに頼らない視覚的なコミュニケーションで、幅広い利用者に対応できます。



men



women



multipurpose



bicycle parking



cycling road



pedestrian road



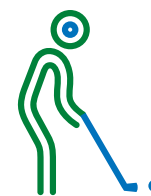
dog walking



sup



kayak



golf



take a walk



reading



take a break



admire flowers



parent and child

※ピクトグラムの種類、内容は暫定です。使用用途に応じて詳細検討します。



## 書体について

---

オリジナル欧文書体  
アテンションとなる情報、サイン等に使用

公園内のインフォメーションは統一した書体を使用します。  
アテンションとなる情報はオリジナル欧文書体を使用し、  
用途に応じて適宜使用書体を選択してください。

A B C D E F G H I J K L M N O  
P Q R S T U V W X Y Z  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! ? % &



## 書体について

---

見出しゴ MB31 Pro  
基本和文書体として使用

---

あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと  
アイウエオカキクケコ  
群馬県立敷島公園 (&.,!?!%¥)

中ゴシックBBB Pro Medium  
第二和文書体として使用

---

あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと  
アイウエオカキクケコ  
群馬県立敷島公園 (&.,!?!%¥)

Helvetica Neue Medium  
基本欧文書体として使用

---

ADCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz  
0123456789(&.,!?!%¥)

Helvetica Neue Light  
第二欧文書体として使用

---

ADCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz  
0123456789(&.,!?!%¥)



## 色彩について

基本的に公園内では、  
ビジュアルアイデンティティに合わせた  
色彩計画を設定します。  
情報に応じてカラーユニバーサル  
デザインを参考に、見分けやすい色彩を  
適宜使用します。

### カラースキーム

メインカラーとして、自然豊かな敷島公園らしさとアクティブなイメージを表現する色彩計画を設定する。



視認性を考慮し、表示内容と背景と明度差が60%以上になるよう設定する。

※その他の使用色も視認性を考慮し、適宜設定する。

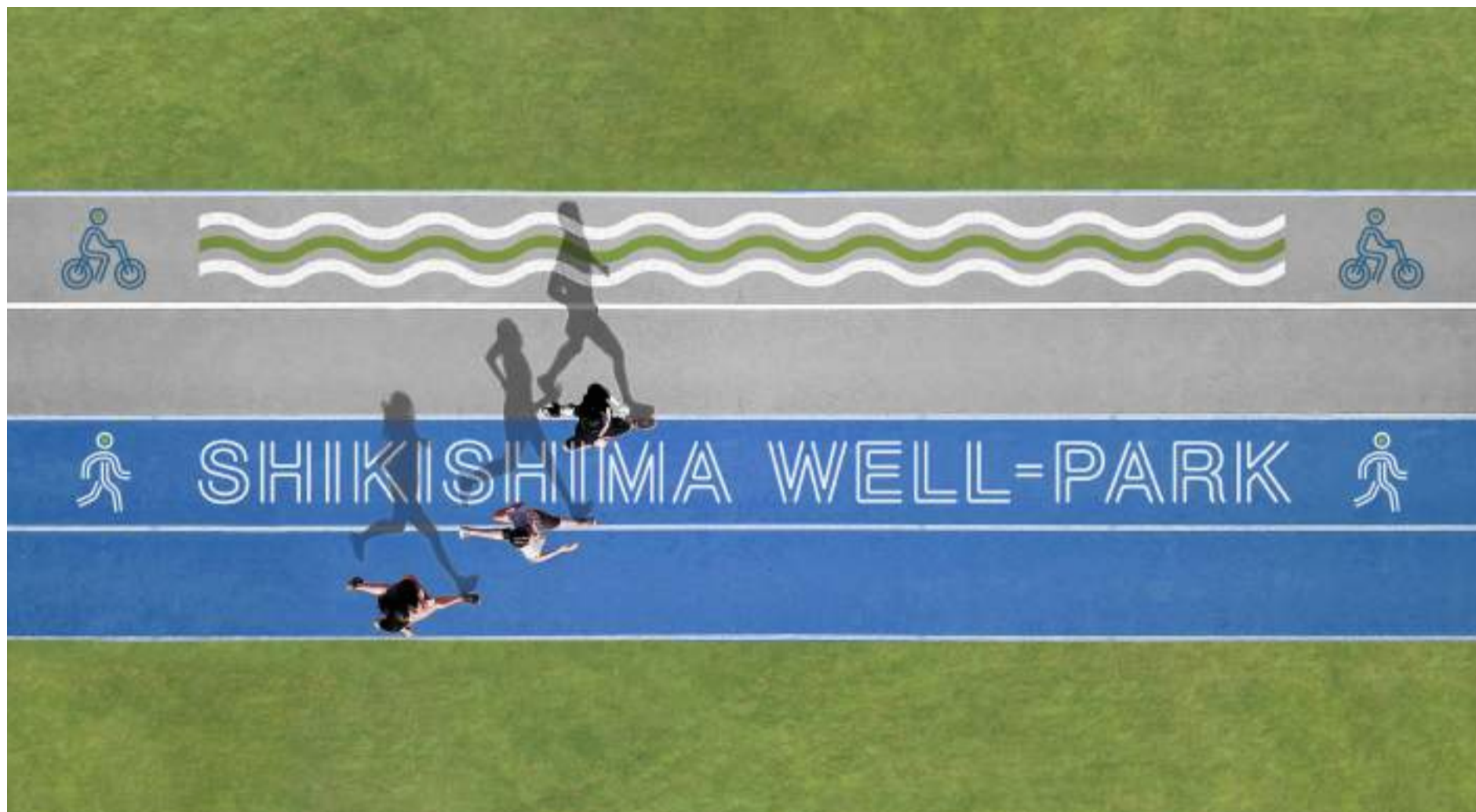


メインカラー以外の色を使用する際は、カラーユニバーサルデザインを参考※に、  
色覚障害者にとっても見分け易い色彩とする。



### ※参考色の感じ方の違い





## 「敷島デザイン」の活用イメージ



## 「敷島デザイン」の活用イメージ





Management and Operation



# 管理運営編

新たなマネジメントの実現

Realization of  
New Management

## 敷島エリアの新たな マネジメントが目指すところ

県民・市民が個性を発揮し、社会課題の解決に取り組む「参画型」のまち

- ・ 県民・市民が、主体的に活躍する場
- ・ 参画型のまちづくりの発信地

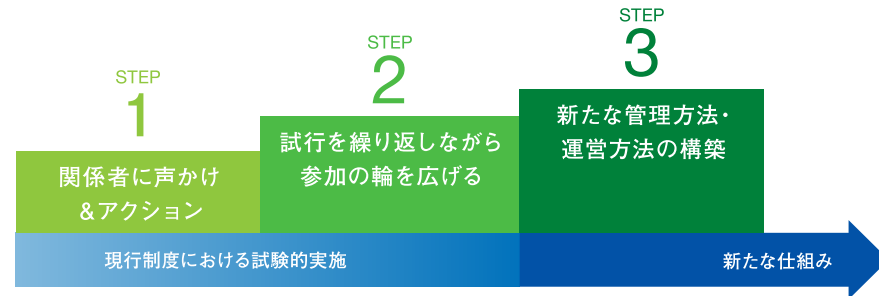
## 新たなマネジメントの姿

- ・ 情報の共有と多様なマッチングを可能とするプラットフォームを構築します。
- ・ プラットフォームを円滑に動かすマネジメント組織を設置します。



## 実現にむけて

- ・ 社会実験等を通じ、協議会のあり方、事務局の役割分担、経費のあり方等を検討・整理していきます。



## 新たなマネジメント仕組みの留意点

県民・市民の継続的な関わり 気軽な参加をきっかけとした公園マネジメントへの継続的な関わり

持続的なネットワーク 人事異動や契約更新などでゼロクリアされないつながり

中庸的な視点、立場の運営 特定のステークホルダーに偏ることのない運営

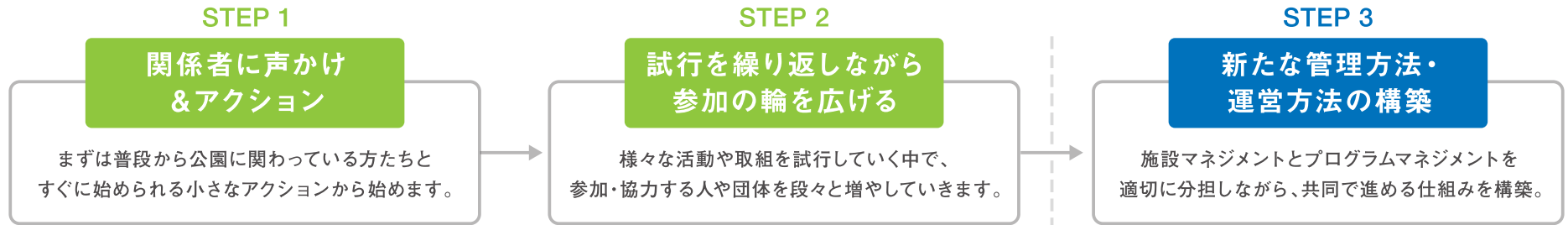
基本的な軸(方針)の設定 公共空間としてある程度の判断基準が必要

施設マネジメントとプログラムマネジメントの分担 参画の場づくりを得意とするコーディネーターの配置



# 敷島エリアでの実現イメージ

県民・市民が誰でも参加できる場を提供し、  
継続的に公園のマネジメントに関わることができる仕組みを構築していきます。



(例)



### ホームゲームイベント

ザスパクサツ群馬の試合日に  
キッチンカーに加え、市民の  
クラフト等のワークショップの  
出店や、子どもの出店団体による  
バザーを実施。



### まちかど文化祭

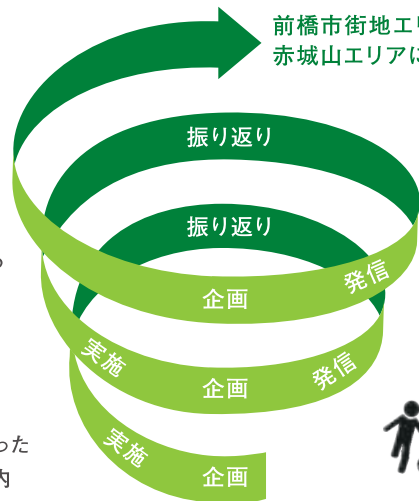
若者ワークショップで意見があった  
市内・県内大学の学園祭など学内  
イベントを公園で開催。



### ウォーキングポイント

「G-WALK+」のポイントの一部を  
地域課題解決に利用する仕組みを取り入れ、  
ウォーキングのゆるい仲間づくりと  
地域課題に目を向けるきっかけに。

前橋市街地エリアや  
赤城山エリアに展開



### バラフェスタ× オープンガーデン

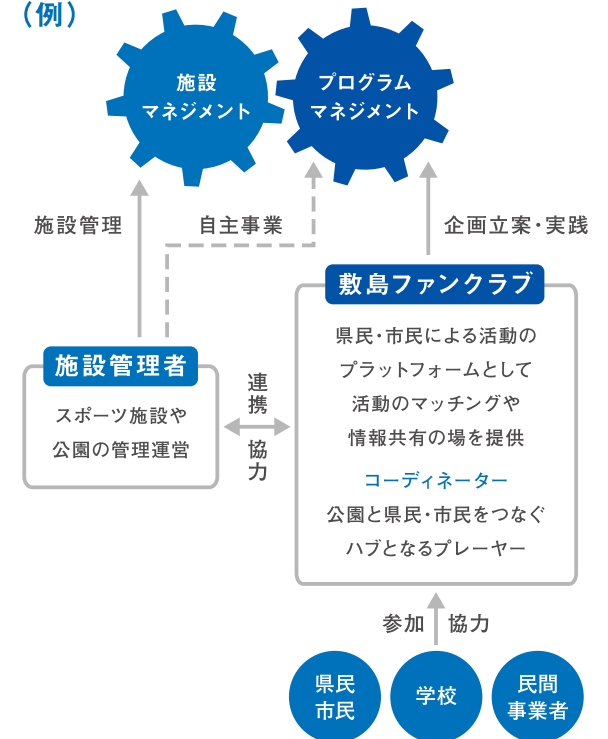
バラフェスタにあわせ、  
周辺でもオープンガーデンを開催。  
講習会などを開催し、  
花仲間を増やす。



### チャリティスポーツ大会

敷島公園でのサッカーや野球の試合で  
1ゴール100円などの寄付を集め、  
子どもや障害者のスポーツ支援などに。

(例)





■発行・編集

群馬県

〒371-8570

前橋市大手町一丁目1番1号

県土整備部都市整備課

電話 027-226-3840

前橋市

〒371-8601

前橋市大手町二丁目12番1号

建設部公園緑地課

電話 027-898-6842